

事務連絡
平成25年6月4日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

本日、赤潮プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

魚類に対して被害のあるコクロディニウム・ポリクリコイデス（香川県の場合：注意報100細胞/ml、警報1,000細胞/ml）が最大で114細胞/ml確認、カレニア・パピリオナセアが最大で3細胞/ml確認されました。また、ミリオネクタ・ルブラが最大で3細胞/ml確認されました。

今後、コクロディニウム・ポリクリコイデスが増殖する可能性がありますので、水色等には十分注意し、状況によっては餌止めなど適切な対応を心掛けてください。

海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

調査時間 (9:30-11:30) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス *1	カレニア・ パピリオナセア *1	ミリオネクタ・ ルブラ
ヒロウラ 別図① 透明度 4.0m	0	22.7	31.2	6.73	0	0	3
	5	22.0	34.0	6.84	25	1	0
	10	21.8	34.1	6.21	0	0	0
ショウジョウバエ 別図② 透明度 5.0m	0	22.7	31.5	6.69	2	2	2
	5	22.0	34.1	6.84	114	0	0
	10	21.9	34.1	6.30	0	0	0
シラハエ 別図③ 透明度 6.0m	0	—	—	—	0	1	0
	5	—	—	—	2	0	0
	10	—	—	—	0	0	0
真珠 別図④ 透明度 5.0m	0	—	—	—	0	0	0
	5	—	—	—	6	0	0
	10	—	—	—	0	1	0
宿毛湾中央 別図⑤ 透明度 8.0m	0	22.6	31.9	6.69	0	3	0
	5	22.2	34.0	6.19	0	0	0
	10	22.0	34.1	5.86	0	0	0
藻津 別図⑥ 透明度 6.0m	0	—	—	—	0	0	0
	5	—	—	—	0	3	0
	10	—	—	—	0	2	0

*1：魚類に対して被害のある種

事務連絡
平成25年6月4日

関係者各位

宿毛漁業指導所

貝毒プランクトンの調査について

4日、貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、貝毒の原因種であるギムノディニウム・カテナータムが最大で23細胞/ml、アレキサンドリウム属が最大で2細胞/ml、下痢性貝毒の原因種であるディノフィシス属が最大で1細胞確認されました。

調査時間 (9:30~11:30) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/L)	ギムノディニウム・ カテナータム*1	アレキサンドリウム 属*2	ディノフィシス属 *3
ヒロウラ 下図① 透明度 4.0m	0	22.7	31.2	6.73	0	0	0
	5	22.0	34.0	6.84	0	0	0
	10	21.8	34.1	6.21	0	0	0
ショウショウバエ 下図② 透明度 5.0m	0	22.7	31.5	6.69	0	2	0
	5	22.0	34.1	6.84	23	0	0
	10	21.9	34.1	6.30	0	0	0
真珠 下図④ 透明度 5.0m	0	—	—	—	0	0	0
	5	—	—	—	0	0	0
	10	—	—	—	0	0	0
宿毛湾中央 下図⑤ 透明度 8.0m	0	22.6	31.9	6.69	0	0	0
	5	22.2	34.0	6.19	0	0	1
	10	22.0	34.1	5.86	0	0	0

*2：麻痺性貝毒の原因種

*3：下痢性貝毒の原因種

<別図>

